

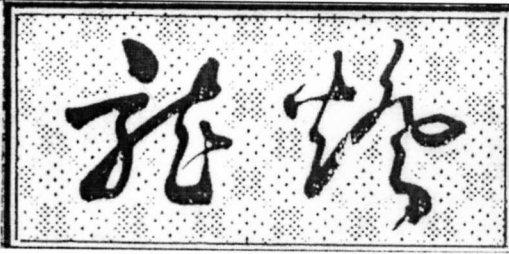
第 60 号

大阪 市 史 跡 龍 溪 禪 師 墓 所 靈 龜 山 九 島 院
 〒 550-0022 大 阪 市 西 区 本 田 3 丁 目 4 番 18 号
 TEL 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行所

発行者

第 廿 五 代 住 職 奥 田 啓 知 (智 證)



当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

酒は飲んででも吞まれるな ～中川元財務相・草薨剛さんと酒～

いささか旧聞に属しますが、先進七ヶ国財務相・中央銀行総裁会議 (G7) での中川昭一元財務大臣の『酔酩会見』や、人気アイドル「S.M.A.P」のメンバー草薨剛さんの泥酔による公然わいせつの現行犯(?)逮捕など、過度の飲酒による失敗が続いています。

毎日新聞夕刊に「酒を飲むとどうなるか」というコラムがありました。酒を飲むと「心のなかで鬱積した感情が表に出たり我慢していたことをしてしまふ傾向になる」と書かれていました。

ストレス解消でお酒を飲むことは別に悪いことではありません。「酒は百薬の長」といって適度な酒はどんな薬にもまさる効果があります。が、「人が酒を飲み、酒が酒を飲む」になつてしまつてはいけません。酒に吞まれて、シラフになり、「私が?」とびっくりしても、取り返しがつきません。

仏教の基本的な戒は「不殺生(殺すな)、不偷盗(盗むな)、不邪淫(淫らなことをするな)、不妄語(嘘をつくな)、不飲酒(酒を飲むな)」

です。

不殺生から不妄語までは、それ自体が罪障なので「性戒」といいますが、不飲酒は「遮戒」といいます。お酒を飲むこと自体はたいした罪ではなく、お酒を飲むと気が大きくなり他の戒律を守りにくくなるから制定されたのです。

原始仏教聖典には、「酒は人を怠けさせる。酒におぼれる者には六つの禍(わざわい)がある。財産が失われ、口論が増え病気の原因となり、評判が悪くなり、性を露出する(といった恥知らずの行為をし)、知力が衰える」(『長部教典』)と説かれています。

お釈迦様も、お酒を飲むことによつてもたらされる10の過失を説かれています。

それは、「顔色が悪くなる」「力が弱くなる」「視力が悪くなる」「怒りの相を現す」「生業の手段を失う」「病を増す」「争うことが多くなる」「人望を失い、悪名が流布される」「智慧が減退する」「身を亡ぼし地獄・餓鬼・畜生に墮ちる」です。



そこで、お釈迦様は「怒るべき10の過ちの原因である酒を慎め」と言われ、「もし比丘、酒を飲むものは波逸提(はいつだい)である」と制戒されました。「波逸提」とは自分以外の一人の前で懺悔すれば許される比較的軽い罪のことです。

平安仏教の二大巨星の最澄と空海でも、酒に対する態度が違います。最澄は、酒を飲むものは比叡山を去るべし...と毅然としています。空海は、塩酒(塩をつまみに飲む酒)一杯はこれを許すとやや甘い態度をとっています。

いくらお釈迦様が、飲酒を「波逸提」、軽い罪とされても自制できないのなら飲まないことです。中川昭一元財務大臣や草薨剛さんも...

波濤の夢

(龍溪禪師一代記) その一

出自の秘密

一人の男児が呱呱の声を上げた。曹洞宗・臨済宗の日本禪宗に大きな変革を与えた黄檗宗の開創に身命を賭し、不遇の最期を遂げた僧侶だ。

慶長七年(1602)七月三十日未刻、旧暦であるので現在の九月二十日前後午後二時ごろのことである。関が原の戦いから二年目、翌年には徳川家康が征夷大將軍に任じられ、幕府の統制があらゆる面に及ぼされる時期である。

父は奥村清三郎で京都の人、母は連歌師三次紹欽の女で、紹欽は管領細川氏の家臣三次家の一族で、細川高国(1484~1531)に仕えたと言う。

男児は生来多病で、父母は常に神仏にその健康を祈っていた。五歳の時にわかに病気が昂じて一度は仮死して痛哭しているところへ、たまたま通りかかった托鉢僧が男児の腰のあたりに灸をすえたところ蘇生した。父母は大いに喜びその僧に名前を聞くも答えずして去ってしまった。それ以後父母はますます仏法に篤く帰依し、この子は

仏門に入れるべきだと、八歳のとき京都・東寺にあづけ密教を学ばせた。ところが叔父が、この子のひとりとなり気宇超邁なのみて、禅門に入ることを勧め、十六歳のとき摂津・普門寺の第八代壽室玄勝(?~1620)に投じて剃髪した。時に元和三年(1617)のことである。

普門寺は細川勝元の創建した京都洛西にある龍安寺の末寺であった。その後、細川晴元が所領の撰津富田の普門寺を檀護していたが、三次長慶によって芥川城に幽閉されて没した。この頃第七代古月玄策が龍安寺塔頭東阜庵の壽室に寺を付した。このような三次氏との俗縁により、普門寺壽室を師とし、僧名(諱)を景啄と号した。

景啄十八歳の時、受業師壽室が寂し妙心寺長老の伯蒲慧稜(1544~1628)に参じた。伯蒲は京都の豪商角倉(吉田)家一族の六郎左衛門光茂の四男で、角倉了以の従兄弟である。

以上が龍溪禪師関係史料からの要約だが、先代弘忠和尚著「水聲龍吟」に興味ある記事があるので引用抜粋する。

数年、京都・東寺の執事職である「阿刀(あと)」姓を名乗る人物が来院した。「禪師の生誕については、宗門では間違ったことを伝えている。その出生については禪師は秘密の人なのです。実は禪師は京都の角倉了以の外孫なのです。了以の女が阿刀家に嫁ぎ、この娘にできたのが禪師で、禪師は双子の弟として生まれたのです。」

今でこそ双子どころか五つ子が誕生しても問題はないが、昔は大変嫌われたそう。まして旧家や名門では尚更のことで、世間に知られまいと、その一人を家系より抹殺した。即ち他家へ養子に出したり、なかには山や河にすてたことさえあったという。

弘法大師空海は四国・善通寺の生まれで、父はこの地の豪族佐伯真田公で母は阿刀家の出身だった。洛西の車折神社の東北に在る安堵橋(阿刀橋)の畔に阿刀神社があり、阿刀家の郷土は嵯峨である。

角倉家も嵯峨に地盤を持ち、代々医学を本業とし、別に土倉(質屋)を営み、角倉了以は海外貿易で巨

利を収め大堰川の開創をした功勞者である。当時の豪商の家では、親類の中での縁組を重んじ他家へ嫁がせることを嫌ったそう。近親結婚の為か夭折者も多いが、医師、学者、僧侶、実業家など名を成したものも多い。

男児の出家したのが阿刀家縁の東寺であり、受業師壽室亡き後師事したのが、角倉了以の従兄弟の伯蒲慧稜という不思議な符号に驚かざるを得ない。

勿論、双子の件については歴史的文獻もなく証明できないが、父の奥村清三郎も同様であり、阿刀、角倉両家では、自分たちの先祖にこうした人がいたと、墓参されて

(つづく)



墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

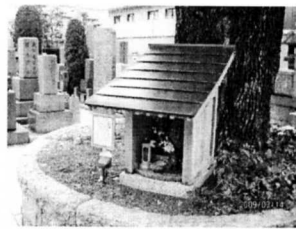
第15回 修養会のご案内

本年は、姫路近郊の網干にある龍門寺を拝塔します。不生禪を唱えた盤珪禪師の根本道場です。寛文元年に創建され、当時の遺構をそのまま伝え、県・市指定文化財の17棟の諸堂や大方丈の襖絵など、素朴で静寂な境内は今も禪師の遺徳を偲ばせています。盤珪禪師は隠元禪師の法甥にあたる道者禪師について修行され、私ども黄檗宗とも関係のある名僧です。赤穂浪士大石良雄も参禅しました。塩田温泉『夢乃井』で昼食、あと蒲鉾工場見学なども予定しています。是非、お誘い合わせの上ご参加ください。

- 日時 11月8日(日)
- 集合場所 8時30分 九島院会館
- 旅程
九島院 - 龍門寺(拝塔) -
塩田温泉『夢乃井』(昼食) -
ヤマザ蒲鉾工場見学(買物も可) -
九島院(17時頃解散予定)

- 会費 金壹万円(当日受付時に徴収)
- 募集 40名(満員になり次第締切)

※先着順ですので、当院まで
TEL (06-6583-2725)
にてお申し込みください。
出発日の半月前に確認書をご郵送します。



猫地蔵の御堂完成
平成十八年六月七日に招来奉安した『猫地蔵』の御堂が完成致しました。ご参詣の際に、ご覧ください。

< 追加寄進者 >

- 芭蕉円 大内千恵子
- 伍阡円 鈴木 房子
- 参阡円 久恒 月枝



檀信徒の皆さまへ

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで直通電車が走っています！

行事案内

地蔵盆子ども会

開催日 8月22日(土)
14時より

本年より、初めての開催となります。地域・檀信徒の皆様、お子様と一緒にお越し下さい。
内容：読経、腹話術、など
※参加したお子様には、お土産をご用意しています。



写経会

開催日 9月26日(土)
15時より

本年より、初めての開催となります。地域の皆様、檀信徒の皆様、どなた様でもお越しください。初心者向けの写経会ですので、気楽に参加できます。

持ち物：一切不要。

(自身の書写用具の持込も可)

写経用紙・手本は、当院で用意

經典は、『般若心経』

※申込方法：電話にて先着順。

※参加費：金壹阡円

永代供養墓 (大亀地蔵尊)

お墓を建ててもいずれば無縁になるから、とのお考えの方の相談を受けてできた永代供養合祀墓です。

- 継承者がいなくても安心
- 無縁になる心配がない
- お寺が続く限り供養される
- 永代位牌が位牌堂に祀れる
- 彼岸・お盆には大勢の僧侶での回向がなされる
- ご遺骨は大亀地蔵尊の蓮台下で土に還るように埋葬される

- 永代供養だけの方も大丈夫
- 生前に依頼もできる
- 維持管理料は不要
- 永代志納金 一壘三十万円
- 永代位牌は二種類
- 宗旨・宗派は問いません
- お墓を整理して合祀される方もおられます
- 新規境内墓地(西区で当院だけ)も募集しています。

お問い合わせ下さい。

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。 → <http://www.kyutouin.or.jp>



墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

奉納便り

○木彫菩薩立像奉納 (平成二十一年三月十九日)
唐井清 様より、木彫菩薩立像一体が奉納されました。慈光堂入口に奉安しました。

○写真『阿羅漢』奉納 (平成二十一年三月十九日)
滝修雄 様より、大本山萬福寺の十八羅漢像を撮った写真を頂きました。コンクールで受賞したそうです。龍灯会館に展示しました。

編集後記

▼新型インフルエンザが猛威を振るっています。軒並みマスク売り切れの店が続出です。
▼家内も小生も花粉症で、マスクの備えがありましたので不便はしていませんが、風薫る五月の爽やかな季節とは縁遠い生活です。
▼先だって、檀家のご婦人二名の依頼を受け、弟子と二人で本堂真前で、略式ですが帰依式(得度式)を執り行いお戒名を差し上げました。

▼黄檗宗は授戒禪ともいつて、授戒会法要で授ける伝統があります。当院でも明治三十一年と昭和十四年に大本山萬福寺管長猊下を拝請して、檀信徒の方々にお授戒法要を執行した記録があります。平成二十四年には本山で授戒会が計画されています。
▼お戒名は(一)法名は、死人の名前ぐらいに考えている方が多いのが実情ですが、人生の道行きの指針として戒名を戴くのが真の仏教徒なのです。

●男?の活券(こけん)●

連休直前の29日昼、お寺の看板犬(?)リョウちゃんが、9歳(人間で60歳)のゴールデンリトリバーのオスですが、嘔吐し全く元気がありません。

翌日、動物病院で点滴してもらっても、食欲もなく回復しません。夜には血尿まで出る始末。堺にある動物救急病院に駆けつけ応急手当をしてもらいました。翌日、掛かりつけの病院でレントゲン撮ったところ、前立腺肥大で膿がたまっているのが原因でした。

犬も人間同様に、加齢により前立腺肥大という男の病気を発症することが判りました。再発を防ぐには去勢手術がよいとのことで、元気にはなっていましたが、連休明け早々の7日に手術を受けました。

幼犬の時から、家内は去勢手術を勧めていましたが、男?の活券にかかわると断固反対してきました。今回の病気で、図らずも睾丸を摘出することとなりました。手術前日、リョウちゃんを仰向けに寝させ記念写真を撮り、男子の最後を記録したものの、手術をすることがいいのか逡巡していました。当日は、己の身に降りかかった災難を理解しているのかどうか、無邪気に車上の犬となったのです。

もう一匹の看板犬?のミニチュアダックスフンドのケイちゃんも、正月早々に椎間板ヘルニアで2週間の加療生活を体験し、8歳という彼の年齢は、人間の48歳にあたりますが、どうやら犬も飼いまも高齢者の仲間入り、健康には十分注意しなければならぬ年齢になってきました。

正月早々の住職の大腸ポリープの内視鏡手術では檀家の方々にはご心配をおかけしましたが、全く元気に過ごしています。

住職58歳。前立腺肥大になっても不思議ではない年齢、「貴方も取ってもらったら、少しはおとなしくなるんじゃない!」とは愚妻の言葉です。男子の活券は守るんや。



九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで直通電車が走っています!

水灯会 (お施餓鬼法要)

8月19日(水)午後1時半より

※先祖供養です。宗旨に関係ありません。ご回向お申込み下さい。法話:住職

大亀地蔵尊盆

8月23日(日)午後7時半より

※大亀地蔵尊埋葬者供養の法要

ご案内

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。